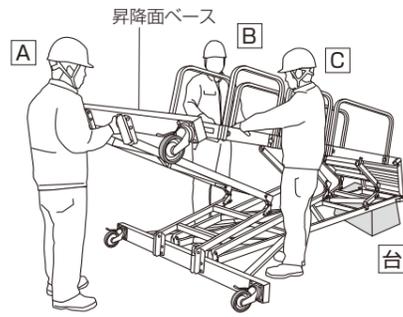
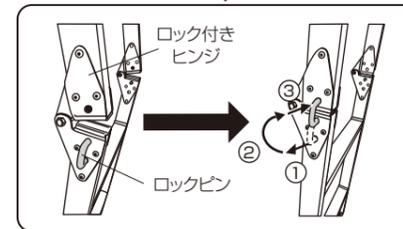
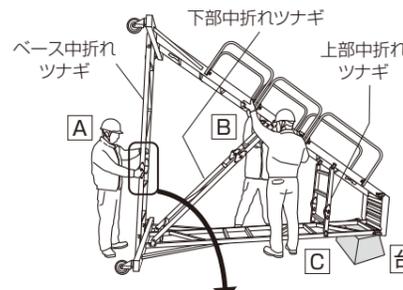


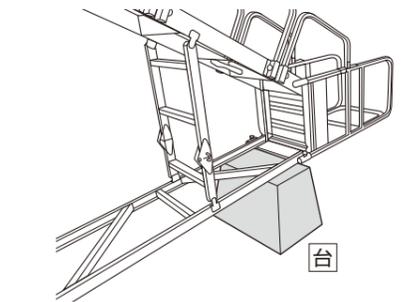
3.作業員Aが昇降面ベースを持ち上げ、作業員B・Cが昇降面の支柱をそれぞれ持ち上げます。



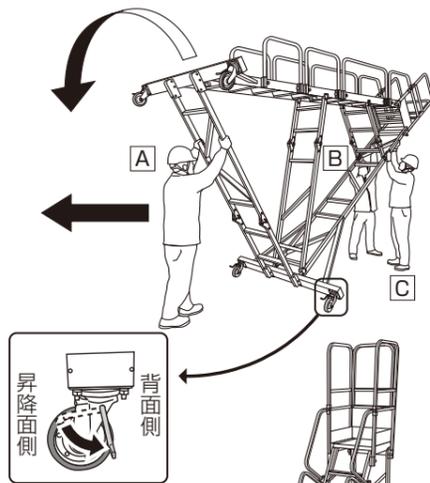
4.作業員BCは中折れツナギが直線状になるまでさらに支柱を持ち上げます。作業員Aはベース中折れツナギ、下部中折れツナギ、上部中折れツナギの順に、ロックピンを①引き抜き②回転③差し込みの順に操作し、ロック付ヒンジを固定してください。



5.側面手すり(L)、側面手すり(R)を手すりブラケットに差し込み、手すりブラケットのノブボルトを回して固定したあとに、上部昇降手すり(L)、上部昇降手すり(R)をM6用スリキを使って固定してください。次に、背面手すり、背面幅木を取り付けてください。



6.全てのキャスターのロックをかけてください。(自在キャスターの向きは右上図を参照してください。)作業員BCが左右の背面支柱をそれぞれ持ち上げて作業台をおこし、作業員Aはベース中折れツナギを持ち支えながら後ろへ下がり、ベース中折れツナギから昇降面ベースへ持ち替えて、ゆっくりと昇降面側のキャスターを着地させてください。

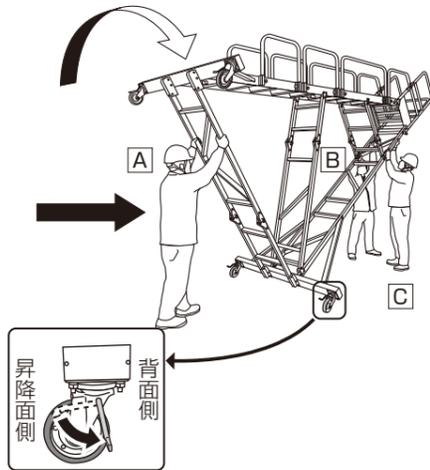


7.ご使用の際は全てのキャスターをロックした状態で昇降してください。

収納のしかた

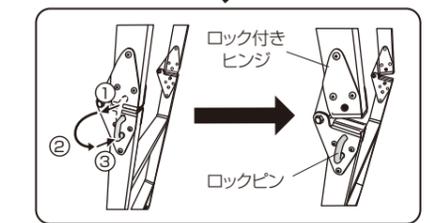
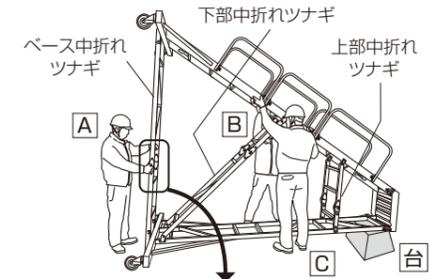
※必ず3人以上で行ってください。
※必要工具:M6用スリキ(上部昇降手すり(L)、(R)のみ)

1.全てのキャスターのロックをかけてください。(自在キャスターの向きは図を参照してください。)作業員Aは昇降面ベースを持ち上げ、ベース中折れツナギへ持ち替えて前へ進み、作業員BCは左右の背面支柱を持ち支えて、ゆっくりと背面支柱を台の上に乗せてください。手すりや地面に当たると変形するおそれがあります。



2.背面手すり、背面幅木を取り外してください。上部昇降手すり(L)、上部昇降手すり(R)はM6用スリキを使ってブラケットごと取り外してください。取り外し方法はCSD-LS型作業台手すり組立説明書を参照し、取り付けと逆の手順を行ってください。次に、側面手すり(L)、側面手すり(R)は手すりブラケットのノブボルトをゆるめて引き抜いた状態で保持し、手すり本体を手すりブラケットから引き抜いてください。

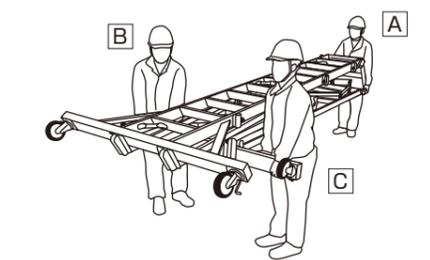
3.作業員BCは昇降面の支柱を持ち支えてください。作業員Aは上部中折れツナギ、下部中折れツナギ、ベース中折れツナギの順にロックピンを①引き抜き②回転③差し込みの順に操作してください。作業員Aは上部中折れツナギ、下部中折れツナギ、ベース中折れツナギの順にロック付ヒンジを折り曲げてください。



4.作業員BCが昇降面の支柱を下ろし、作業員Aは昇降面ベースを受け取り、ゆっくりと折りたたんでください。

5.手すりブラケットのノブボルトを全てゆるめて引き抜き、下部昇降手すりを手すりブラケットから引き抜いてください。

6.昇降面を上にし作業員Aが天板、作業員BCが背面ベースの両端を持ち上げてください。収納場所へ移動し、手を作業台と地面の間に挟まないように気をつけて置いてください。



作業台の昇り降り・作業のしかた

警告
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

- 昇る前に、必ずロック付ヒンジが固定されていることを確認する。
- 全てのキャスターをロックする。転倒、転落や器物損傷のおそれがある。

作業台に昇る前に、作業員の服装や設置場所の問題がないかを確認してください。

- 身体の前面を作業台の昇降面に向け、両足を使って、1段ずつ慎重に昇り降りする。
- 作業台の上で作業するときは、身体を乗り出さない。
- 降りるときは、1段ずつ踏ざんに足を掛け、飛び降りずに最下段の踏ざんまで使って慎重に降りる。
- 作業台を移動させるときは、作業台から降りて移動させる。

作業台の移動のしかた

※必ず3人以上で行ってください。

- 1.全てのキャスターのロックを解除させてください。
- 2.1人が昇降手すりを持ち、2人が左右の背面支柱をそれぞれ持ち慎重に移動させてください。

注意
「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 移動するときは、作業台が転倒しないように注意する。ケガや器物損傷のおそれがある。

注意
「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 作業台を台車として使用しないでください。変形や破損のおそれがある。

ご使用前の点検

点検項目

本製品に下記のような異常がある場合は、使用を中止し、弊社までご相談ください。

- 支柱・天板・踏ざん・手すりの曲がり・ねじれ・へこみ
- 取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食
- リベット・ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ち
- キャスターの外れやすり減り
- 支柱・天板・踏ざんなど、本製品各部のガタツキ

警告
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

- 製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修を絶対にしない。手直ししても本体や金具の破損が起り、転倒や転落などの事故の原因になる。

お手入れと保管方法

お手入れの方法

本製品にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

<汚れを取る>

- 汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。
- 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。
- 油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。

注意
「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- クリーナーや洗剤を付けた状態で放置しない。腐食のおそれがある。

保管の方法

本製品を必要なおきに安全にお使いいただくために、十分にお手入れをしてから保管してください。また、転倒による事故や破損を防ぐために、下記の状態でご保管してください。

- 横に寝かせて保管
- 立て掛ける場合はひもなどで固定して保管

注意
「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- 本製品の上に物を置かない。変形のおそれがある。
- 本製品を屋外に放置しない。各部の劣化や腐食のおそれがある。
- 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を保管しない。化学反応を起こして腐食するおそれがある。

故障かな?と思ったら

トラブルシューティング

<現象> 本製品がガタツク

確認	処置
平坦な安定した場所に設置していますか。	平坦な安定した場所に移動してください。
全体に大きく曲がりやねじれがありませんか。	異常がある場合は、使用を中止して、弊社までお問い合わせください。
支柱・天板・踏ざんに、曲がりやへこみなどの変形はありませんか。	
キャスターが外れたり、すり減ったりしていませんか。	キャスターを交換してください。交換については、弊社までお問い合わせください。

<現象> 本製品がグラグラする

確認	処置
支柱・天板・踏ざんなどの接合部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	異常がある場合は、使用を中止して、弊社までお問い合わせください。

その他

廃棄について

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の指示に従って、適切な方法で廃棄してください。

アルインコ株式会社

〒569-8510 大阪府高槻市三島江1-1-1 お客様相談室 ☎0120-302-669

10:00~16:00 ただし12:00~13:00及び土・日・祝を除く

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。
※万一・乱丁、落丁がございましたら、お取り替えいたします。
※住宅機器事業部の製品は日本での販売を目的として開発・製造・販売(仕入れ品含む)しております。他国に輸出される場合は弊社までご相談ください。